

の長径は9mm), 11月6日にも産卵した(長径8mm). その後ヒシバッタを与えてもほとんど捕食しなかったが, 11月下旬にも産卵し(長径7mm), 12月17日まで生存していた.

なお, 1997年11月8日には, 三熊山の測候所の近くで本種の1♀を採集したので併せて報告しておく.

(ほりた ひさし)

安乎町におけるトゲナナフシの記録 堀田 久²

筆者は1991年に, 安乎町でトゲナナフシ *Neohirasea japonica* を採集したが(本誌38号), その後も1992年から1996年にかけて, 安乎町の自宅付近で毎年のように1~2頭の本種を確認している.

1997年には下記のように, これまでより多くの個体を確認したので報告しておく.

1997年10月10日	1♀	安乎町北谷(自宅の庭)
1997年10月16日	1♀	安乎町北谷(自宅の床下)
1997年11月3日	1♀	安乎町北谷(自宅の花畑)
1997年11月4日	1♀	安乎町北谷(自宅のミカン畑)
1997年11月10日	1♀	安乎町北谷(自宅の納屋)

なお, 10月16日の個体は標本として保管している. また, 11月3日の個体は採集して飼育ケースに入れ, ヤマブキとカシの葉を与えたところ, ヤマブキの葉をかなり食べて11月20日まで生存していた.

(ほりた ひさし)

イシガケチョウについて 谷川 大海³

バルナシウス No.41 で報告して以来, 毎年同じ場所(洲本市池田, 食樹イヌビワ)で観察を続けてきた. その結果を報告する.

1995年	} 3月下旬から6月上旬まで 卵・幼虫, 成虫のいずれも発見できず.
1996年	
1997年	

3: 〒656-0055 洲本市大野1018-2